下水道事業評価（令和7年度）

1　事業情報　　担当課　上下水道総務課

実施方針	Ⅳ　下水道事業の経営の健全化	施策目標	2　広報活動の充実や市民ニーズの把握に努めます	施策	①　広報活動の充実

2　事業評価の概要

項目	内容
施策目標	下水道（汚水）を使用できる市民が速やかに下水道（汚水）に接続していただけるよう、積極的な広報活動に努めます。また、下水道サービスの向上を図るため、さまざまなイベントなどを通じて、直接市民の声を聴くなど、市民ニーズの把握に努めます。
施　策	下水道事業の必要性や下水道の内容などをわかりやすく市民に伝えるため、市ホームページや広報誌などを活用した情報提供を行うとともに、各種イベントを通じ積極的な広報活動に努めます。また、下水道施設の見学会開催について検討します。
取組内容、数値目標及びスケジュール（単年度）	・アクアプラン4-1-4「水道事業PRとお客様の声の反映」と連携し、各種イベントに参加します。 ・上下水道局ホームページや上下水道広報誌「みずぐるま」に工夫を凝らし、市民の事業に対する理解促進を図ります。
期間	令和7年4月　～　令和8年3月

予算額決算額		予算額			決算額			執行率
	単位：千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位：%
	事業費計	99	99	0	99	99	0	100%
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	0			0			
	賃借料	0			0			
	その他	99	99		99	99		100%
	人件費	3,860			3,860			100%

3　中間評価（事業の進捗状況）

執行状況	上半期執行額	99千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	100%		
進捗状況	・6月に市内在住の18歳以上の方を対象とした「上下水道施設見学会」（上青木浄水場・荒川町ポンプ場の見学、17名参加）、8月に市内在住の小学生と保護者を対象とした「水の学習会」（下久保ダム・荒川水循環センターの見学、76名参加）を開催し、上下水道の仕組みや大切さについて理解を深めました。 ・その他のイベントについては、10月以降に複数出展予定です。 ・8月に上下水道広報誌「みずぐるま」を発刊し、上下水道事業の経営状況に関する特集記事を掲載しました。			

4　終了時評価（事業の達成状況）

達成状況	・6月に市内在住の18歳以上の方を対象とした「上下水道施設見学会」（上青木浄水場・荒川町ポンプ場の見学、17名参加）、8月に市内在住の小学生と保護者を対象とした「水の学習会」（下久保ダム・荒川水循環センターの見学、76名参加）を開催し、上下水道の仕組みや大切さについて理解を深めました。 ・年次報告書を作成し、上下水道局ホームページ等で公開しました。 ・イベント（荒川ふれあいまつり、市産品フェア）に出展し、下水道事業をPRしました。 ・広報誌を年2回発行し、下水道事業の財政状況・経営状況・汚水処理等について掲載しました。掲載にあたっては写真や図を活用し、理解に繋がるよう努めました。 ・上下水道学習用パンフレットを市内小学校4年生及び上下水道施設見学会、水の学習会参加者に配布しました。

5　指標

指標					R7	R8	R9	R10
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				

6　視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	B	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	B
	目的に対する実施内容	A		情報発信の実施	A
効率性	業務のプロセス改善（創意工夫）	B	組織学習	職員の知識向上のための取組み	B
	投入した費用・労力に対する成果	B		知識の伝達	B

評価理由（特記事項）	総合評価
・SNSを活用し、イベントや上下水道事業に関する情報を発信しました。	B

7　今後の実施方針等

事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
・お客様の下水道事業への理解に繋がるよう、ホームページ、SNS、広報誌、各種イベントにおける広報方法を工夫します。	現状維持で継続